

研究課題名

自動分析装置反応過程を用いた検査データの信頼性・品質向上の検討

研究責任者の氏名

研究責任者:酒井昭嘉

共同研究者:富貴田誠一、大脇佑太

研究の目的および概要

自動分析装置による測定値の管理は、精度管理図を用いる方法と個々の患者データを管理するものが用いられています。個々の患者様データの管理には、自動分析装置のリニアあるいはプロゾーンチェック機能および検査システムによる前回値チェック、デルタチェック機能などで確認を行っています。しかしこれらのチェックシステムによる測定値の確認は、各測定の反応過程を直接判定していません。

自動分析装置で測定された反応過程を解析することにより、異常反応を検出することが可能となり個々の患者様のデータの新しい品質保証システムの構築を目的とします。

2019年10月～2021年3月までに、当院にて自動分析装置にて測定を行った検査データを対象とします。

収集した検査データからは患者様の氏名の削除を行い、研究用の番号をつけて取り扱います。また、電子データはパスワードをつけてインターネットに繋がれていないコンピュータに保管し、研究終了の5年後に消去します。研究成果は学会・学術雑誌等で発表する予定です。氏名などの個人情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

自動分析装置で測定された検査データと診療記録

利用するものの範囲

酒井昭嘉、富貴田誠一、大脇佑太

連絡先

松波総合病院 中央検査室

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1

TEL 058-388-0111 (代表)

松波総合病院 中央検査室 酒井昭嘉